



# PTAおやこあんぜん会

発行 / (公財) 富山県 P T A 親子安全会 編集 / 広報委員会

富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内 TEL (076) 433-2094 FAX (076) 433-2096 E-mail anzenkai@ch.mbn.or.jp

## 親子安全会主催の講演会を開催しました(講演会報告)

公益財団法人富山県 P T A 親子安全会講演会(第9回富山県 P T A 連合会会員大会)

大山 加奈 さん「繋ぐ ～バレーボールが教えてくれたこと～」

(元日本代表女子バレーボール選手)

令和3年12月4日 県民会館ホール

### ①バレーボールとの出会い

バレーボールとの出会いは、自分が同級生よりもとびぬけて大きく、クラブの先輩から誘われたことがきっかけ。当時は喘息持ちで非常に体が弱く、練習も休みがちだった。妹がチームに入り、レギュラーで活躍する姿を見て、妹に負けまいという目標が自分自身を大きく変えた。その後、練習も休まず続けたことで、喘息も治り、バレーボールをがんばったことでみんなに褒めてもらえ、またがんばろうという自己肯定感が高まっていった。全国大会で優勝したとき、表彰式で大林素子さんから「早く全日本に来てね」と声を掛けられた。それがきっかけでオリンピック選手になりたいという夢が目標に変わった。



～大山加奈さんの紹介～

12月は感染も下火になっていたため、対策を十分とった上で大山さんを実際にお招きし、開催することができた。

大山さんは小学校からバレーボールを始め、小中高とすべての年代で全国制覇を経験。高校1年時に日本代表に選出され、力強いスパイクを武器に「パワフルカナ」の愛称で親しまれた。

以後、日本を代表するプレーヤーとして活躍、オリンピックにも出場された。

現在は全国での講演活動やバレーボール教室、解説、メディア出演など多方面で活躍され、スポーツ界やバレーボール界の発展に力を注いでおられる。

### ②恩師や家族のささえ

高校の恩師は自分で気付くように、ヒントを出して待ってくれた。また長所を伸ばす指導で欠点は指摘しなかった。そのため、自らやっていくバレーボールで、楽しさや魅力に気付くことができた。

日本代表合宿時は「何のために？」と思うほどハードな練習だった。持病の腰痛が悪化し、弱音を吐いてはいけないと思い、心身ともに限界だった。

合宿終了目前に「もう無理だ。」と親や恩師に相談したら、「帰っておいで。辞めていいよ。」と言われて心が楽になり、もう少し頑張ってみようと思うことができた。けがは取り返しがつかないこともあるので逃げる勇気も悪くないこと、自分の弱い部分を打ち明けることで強くなれる時があることを子どもたちに伝えていかなければならない。

### ③けがを経験して思ったこと

オリンピックで体を酷使した結果、腰痛が悪化してしまい、手術しなければならなくなった。現役復帰を果たした前例がない手術、苦しいリハビリを経て、484日後にコートに立て、たくさんの人が温かく迎えてくれたことが、なにより幸せに感じた。しかし、腰痛が再発。体の限界を痛感し現役を引退する決意をした。

自分の選手時代はバレーボールがすべてで、体が壊れてもがんばる時代だったが、競技は人生の一部。競技を辞めてからのほうが圧倒的に人生は長く、その人生を大事にしていかなければならない。

### ④大事にしていきたいこと

自分の選手時代とは取り巻く環境も大きく変化している。私を含め指導者は、勝利至上主義から脱却し、常に勉強し続け、経験則だけで指導しないこと、子どもの長所を伸ばし目線を合わせること、子どもたちの立場になって物事を考えることなどを大事にしたい。そして、何よりもバレーボール、スポーツが楽しいと思ってもらいたい。もっとやりたい、上手くなりたいと自ら進んでトライしたいと思える環境が増えてほしい。これからすべての子どもたちが笑顔で豊かに過ごせるスポーツ体験の場を作る活動をしていきたいと思う。

### 講演会の感想

- ・ご自身の選手目線からの経験談や思いがひしひしと伝わってくる素晴らしい講演だった。
- ・一流アスリートの経験だからスパルタで成長し、それを推進しそうなイメージがあったが、逆に自分の苦しい経験からスポーツ界の指導方法の固定概念を見直す取り組みをされている事に非常に共感した。
- ・弱音を吐く事、弱い自分を見せる事は決して悪い事ではなく、むしろ勇気が必要な事だと言われ、子どもたちが安心して弱音を吐く事が出来るようになる事が大切な事だと思った。
- ・夢をあきらめないとするアスリートの成功談は多いが、あきらめる事も大切とする視点や指導者の資質について、本音で語る内容が素晴らしいと感じた。

# 災害報告〈2018～2021〉

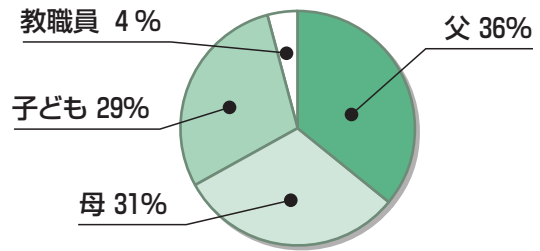
今年度のPTA活動中における災害は、コロナ禍による活動の自粛の影響で、親子活動中の靭帯損傷1件のみとなっています(昨年度は3件)。

コロナ禍前の2年を含め、過去4年間でPTA活動中の災害の傾向を見てみました。親子活動中の災害が多く、傷病別では骨折と捻挫が多くなっています。子どもとの活動は思わず張り切ってしまうがちですが、子どもと一緒に保護者の方々も準備運動等を入念に行いましょう。これからコロナ禍が収束に向かいPTA活動が戻ってきた時に、過去2年間中止になっていた活動も再開されると思われます。けがが増える可能性があるので十分気を付けてください。

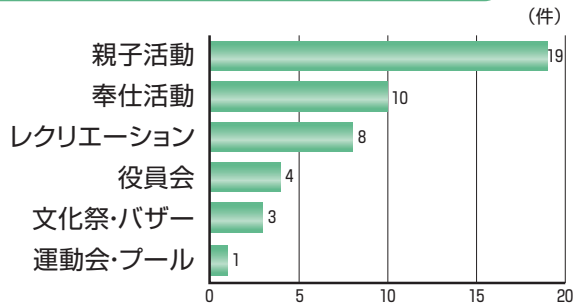
## PTAあぜんキーワード 見舞金(共済給付金)

- ★安全会ではこうしたPTA活動中のけがに見舞金を給付しています。見舞金の請求は、完治するまで待たなくても手続きできます。また、通院1回から支給されます。
- ★他から治療費を受給したり、健康保険で診察してもらったり、他の傷害保険で給付を受けたりしたときがあっても、対象となります。
- ★災害発生より3年以内なら請求可能です!

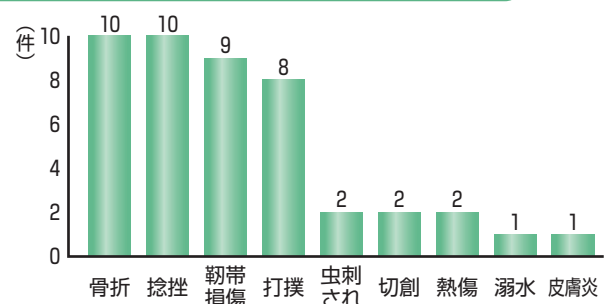
## ■受給者別割合(計45人)



## ■活動・行事別件数



## ■傷病名別件数



## 皆様からたくさんのお寄せ金が寄せられています!

PTA親子安全会では、修学への意欲をもつ子どもたちのより一層の支えとなるよう、就学奨励金を給付しております。この就学奨励金に充てる目的で、皆さまからの寄付を募集しております。今年度は16件総額32万5千円のご寄付をいただきました。今後も引き続き寄付金の募集をしていますので、ご協力をお願いいたします。

### ～ご寄付いただいた方々の一覧～(順不同 敬称略)

#### 〈法人〉

- |                |         |       |
|----------------|---------|-------|
| (株)オートボディテクノ富山 | 代表取締役   | 岡村 和幸 |
| (株)ホンダセンター富山   |         |       |
| 富山いすゞ自動車株式会社   | 代表取締役社長 | 池田 治郎 |
| 新高清掃株式会社       | 代表取締役   | 金井 武史 |
| (株)五万石         | 代表取締役   | 安井 恒夫 |
| (有)協和不動産       | 代表取締役   | 大久保勝弘 |

#### (株)堀プラスチック富山

- |                |  |
|----------------|--|
| (株)カワセ         |  |
| 富山総合ビルセンター株式会社 |  |
| 医療法人社団 おざわ歯科医院 |  |
| キンコー樹脂工業株式会社   |  |
| 松島工業株式会社       |  |

- |       |       |
|-------|-------|
| 代表取締役 | 堀 誠史  |
| 代表取締役 | 河瀬 聡  |
| 理事長   | 小澤真理子 |
| 代表取締役 | 蓮池 泰洋 |
|       | 他1法人  |

#### 〈個人〉

- |       |
|-------|
| 林 由希  |
| 梅田 一好 |
| 村西多美子 |

令和四年。さあ新しい年のスタートだど意気込んだのも東の間、オミクロン株が猛威を振るい、県内の学校でも学校・学級閉鎖を余儀なくされたところもあります。また、家庭内でも感染対策などで不安な毎日も過ごしています。子どもたちもさぞ疲れているかと思いきやそんな素振りもみせず、毎朝笑顔で登校して行く子どもたちを見ているとたくましく思います。しかしこの2年間に楽しみにしていた活動や行事ができなくなり、悲しんでいる子どもも多くいます。そんな子どもたちの為にもPTAや大人が力を発揮してあげられればと思います。

## 編集後記

- |     |              |
|-----|--------------|
| 委員  | 水野 忠司        |
| 委員  | 豆川 公彦(理事・射水) |
| 委員  | 佐伯 真未(理事・富山) |
| 委員  | 河上 仁栄(理事・富山) |
| 委員  | 川尻 将也(理事・立山) |
| 委員  | 堀田 博志(理事・上市) |
| 委員  | 稲場 康晴(理事・滑川) |
| 委員  | 袖野 哲都(理事・入善) |
| 委員  | (常務理事・朝日)    |
| 委員長 | 寺内 真         |

## 令和3年度 広報委員紹介

